

大阪上本町駅(近鉄難波線・大阪線)⑦

龍馬の隠れ寺と新選組ぜんざい屋事件

谷町九丁目駅(地下鉄谷町線・千日前線) 松屋町駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.148

近鉄大阪上本町駅

①アーネスト・サトウ宿泊地
(本覚寺跡)

慶応3年(1867)、徳川慶喜と英国公使ハリー・パークスとの謁見前の下見として外交官、通訳のアーネスト・サトウが来坂して本覚寺で宿泊し、ここで西郷隆盛と会談しました。また、薩摩藩士の小松帯刀と吉井幸輔(のちの友実)も訪れてサトウと一緒に食事をし、2人はパテ・ド・フォアグラとビールを大いに気に入ったといいます。現在は谷町グランドハイイツが建っています。

②ハリー・パークス宿泊の地(正法寺)

英国公使ハリー・パークスが宿泊しています。パークス(1828~85)は幕末から明治初期にかけて18年間、駐日英国公使を務めました。また大坂滞在中に、大坂城で徳川慶喜と接見し、その人物を高く評価。のちに江戸城を攻撃する西郷隆盛に意見して、これが江戸城無血開城にも影響を与えたといいます。

③法性寺(坂本龍馬の隠れ寺)

法性寺は日蓮宗寺院で、維新時にはオランダ人医師アントニウス・ボードウィンが寄宿しました。現在もガラスの菓子入れや、ボードウィンの写真など遺品が残されています。また、ボード



ウィンが浪華仮病院のお雇い医師として、負傷した長州藩の村益次郎や、労咳だった小松帯刀の主治医を務めました。薩摩藩御用商人・薩摩屋半兵衛の菩提寺で、その縁か、坂本龍馬が新選組に追われた際に潜伏したという伝承が残されています。

④土浦藩蔵屋敷跡

徳川家譜代大名の常陸(茨城県)土浦藩9万5千石の大坂蔵屋敷の跡地です。天保9年(1838)、第10代藩主・土屋寅直は大坂城代を務めました。その大坂城代在任中の嘉永7年(1854)に日露和親条約の締結交渉のためにエフィム・プチャーチン率いるロシア帝国軍艦ディアナ号が突如、大坂湾に出現して、大坂庶民に深い衝撃を与えました。

⑤石蔵屋跡(大利鼎吉遭難の地碑)

▼ 慶応元年(1865)1月8日、土佐

藩を脱藩してきた勤王派の大利鼎吉、田中光頭らは石蔵屋政右衛門(本多内蔵助)のぜんざい屋に隠れて、大坂市中に火を放って大坂城を乗とる計画を立てました。しかし事前に計画は漏れ、谷三十郎指揮する大坂新選組が突入して大利鼎吉が斬られました(ぜんざい屋事件)。その後、元老院議員や警視總監、学習院院長などの要職を歴任した田中光頭が、大利のために石碑を建立しました。田中は高知桂浜の坂本龍馬銅像の建設など、維新烈士の顕彰に尽力した人物として知られています。



地下鉄松屋町駅

